

全データの集計 ※合計が100%を超えているところがあるが、重複回答が存在するため。

結論	内容	合計		①即時廃止		②漸次廃止		③条件次第で廃止		④当面存置		⑤分らない等		
		人数	割合	22	23.4%	17	18.1%	27	28.7%	19	20.2%	9	9.6%	
	世論調査に準拠した大分類			死刑廃止意見				死刑存置意見						
	大分類の人数と割合			39				46				48.9%		
	年齢平均(各年代の中央値(例:30代=35歳)から算出)		43.1	47.7				35.3				51.3		35.0
性別	男性	58	61.7%	15	68.2%	10	58.8%	18	66.7%	10	52.6%	5	55.6%	
	女性	34	36.2%	7	31.8%	7	41.2%	8	29.6%	9	47.4%	3	33.3%	
	無回答	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	1	11.1%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
設1	I 更正を期待できる	28	29.8%	10	45.5%	7	41.2%	10	37.0%	1	5.3%	0	0.0%	
	II 再犯の危険がある	29	30.9%	2	9.1%	4	23.5%	10	37.0%	10	52.6%	3	33.3%	
	III この観点を重視せず	17	18.1%	6	27.3%	4	23.5%	2	7.4%	4	21.1%	1	11.1%	
	IV その他・分からない・無回答	20	21.3%	4	18.2%	2	11.8%	5	18.5%	4	21.1%	5	55.6%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	19	20.2%	4	18.2%	2	11.8%	11	40.7%	1	5.3%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	13	13.8%	1	4.5%	3	17.6%	5	18.5%	2	10.5%	2	22.2%	
設2	I 誤判時取り返し付かず	70	74.5%	22	100.0%	15	88.2%	17	63.0%	7	36.8%	9	100.0%	
	II 死刑に限らず不重視	5	5.3%	0	0.0%	2	11.8%	2	7.4%	1	5.3%	0	0.0%	
	III ごく限られた例外ゆえ不重視	7	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	5	26.3%	0	0.0%	
	IV その他・分からない・無回答	12	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	6	22.2%	6	31.6%	0	0.0%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	46	48.9%	15	68.2%	12	70.6%	12	44.4%	1	5.3%	6	66.7%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	23	24.5%	3	13.6%	4	23.5%	7	25.9%	7	36.8%	2	22.2%	
設3	I 人道に反し野蛮	36	38.3%	17	77.3%	11	64.7%	6	22.2%	1	5.3%	1	11.1%	
	II 人道に反せず野蛮でない	31	33.0%	1	4.5%	3	17.6%	10	37.0%	14	73.7%	3	33.3%	
	III 観点を不重視	12	12.8%	2	9.1%	1	5.9%	4	14.8%	4	21.1%	1	11.1%	
	IV その他・分からない・無回答	15	16.0%	2	9.1%	2	11.8%	7	25.9%	0	0.0%	4	44.4%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	16	17.0%	11	50.0%	4	23.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	5	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%	0	0.0%	2	22.2%	
設4	I 国家でも殺人できない	40	42.6%	21	95.5%	12	70.6%	5	18.5%	1	5.3%	1	11.1%	
	II 国家が手続を踏むので許される	34	36.2%	1	4.5%	2	11.8%	14	51.9%	14	73.7%	3	33.3%	
	III 観点を不重視	13	13.8%	0	0.0%	2	11.8%	5	18.5%	4	21.1%	2	22.2%	
	IV その他・分からない・無回答	7	7.4%	0	0.0%	1	5.9%	3	11.1%	0	0.0%	3	33.3%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	26	27.7%	16	72.7%	7	41.2%	2	7.4%	0	0.0%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	7	7.4%	1	4.5%	1	5.9%	3	11.1%	1	5.3%	1	11.1%	
設5	I ヨーロッパ等の世界情勢を重視	31	33.0%	14	63.6%	9	52.9%	4	14.8%	0	0.0%	4	44.4%	
	II アメリカで過半数が存置を重視	4	4.3%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	3	15.8%	0	0.0%	
	III 他国の状況は参考にならず	45	47.9%	5	22.7%	4	23.5%	18	66.7%	15	78.9%	3	33.3%	
	IV その他・分からない・無回答	14	14.9%	3	13.6%	3	17.6%	5	18.5%	1	5.3%	2	22.2%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	12	12.8%	7	31.8%	2	11.8%	2	7.4%	0	0.0%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	6	6.4%	0	0.0%	2	11.8%	3	11.1%	1	5.3%	0	0.0%	
設6	I 世論重視	41	43.6%	5	22.7%	6	35.3%	14	51.9%	12	63.2%	4	44.4%	
	II 世論不重視	30	31.9%	12	54.5%	4	23.5%	8	29.6%	2	10.5%	4	44.4%	
	III その他・分からない・無回答	23	24.5%	5	22.7%	7	41.2%	5	18.5%	5	26.3%	1	11.1%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	7	7.4%	1	4.5%	0	0.0%	4	14.8%	1	5.3%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	12	12.8%	4	18.2%	2	11.8%	3	11.1%	2	10.5%	1	11.1%	
設7	I 命をもって償い	24	25.5%	2	9.1%	1	5.9%	7	25.9%	11	57.9%	3	33.3%	
	II 一生生涯償い	40	42.6%	12	54.5%	11	64.7%	9	33.3%	4	21.1%	4	44.4%	
	III 観点を不重視	19	20.2%	5	22.7%	3	17.6%	7	25.9%	4	21.1%	0	0.0%	
	IV その他・分からない・無回答	11	11.7%	3	13.6%	2	11.8%	4	14.8%	0	0.0%	2	22.2%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	29	30.9%	4	18.2%	2	11.8%	11	40.7%	9	47.4%	3	33.3%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	12	12.8%	1	4.5%	3	17.6%	5	18.5%	3	15.8%	0	0.0%	
設8	I 死刑廃止すれば気持ち収まらず	36	38.3%	2	9.1%	1	5.9%	13	48.1%	17	89.5%	3	33.3%	
	II 一生反省させた方が気持ちに合う	29	30.9%	11	50.0%	8	47.1%	5	18.5%	1	5.3%	4	44.4%	
	III 遺族感情を過度に重視すべきでない	14	14.9%	5	22.7%	4	23.5%	4	14.8%	0	0.0%	1	11.1%	
	IV その他・分からない・無回答	17	18.1%	4	18.2%	5	29.4%	6	22.2%	1	5.3%	1	11.1%	
	計	96	102.1%	22	100.0%	18	105.9%	28	103.7%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	31	33.0%	0	0.0%	4	23.5%	11	40.7%	12	63.2%	4	44.4%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	36	38.3%	13	59.1%	5	29.4%	11	40.7%	4	21.1%	3	33.3%	
設9	I 死刑廃止すれば凶悪犯罪増える	17	18.1%	0	0.0%	1	5.9%	4	14.8%	12	63.2%	0	0.0%	
	II 無期懲役・終身刑でも凶悪犯罪防げる	19	20.2%	7	31.8%	5	29.4%	5	18.5%	2	10.5%	0	0.0%	
	III 刑罰と犯罪増減は無関係	53	56.4%	15	68.2%	9	52.9%	16	59.3%	5	26.3%	8	88.9%	
	IV その他・分からない・無回答	5	5.3%	0	0.0%	2	11.8%	2	7.4%	0	0.0%	1	11.1%	
	計	94	100.0%	22	100.0%	17	100.0%	27	100.0%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	25	26.6%	0	0.0%	3	17.6%	7	25.9%	14	73.7%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	14	14.9%	5	22.7%	1	5.9%	4	14.8%	3	15.8%	1	11.1%	
設10	I 無期懲役や終身刑で代替	39	41.5%	18	81.8%	12	70.6%	4	14.8%	0	0.0%	5	55.6%	
	II 無期懲役で代替	3	3.2%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	III 死刑は残すが執行停止	13	13.8%	0	0.0%	3	17.6%	9	33.3%	1	5.3%	0	0.0%	
	IV 死刑も残し執行もする	30	31.9%	1	4.5%	2	11.8%	8	29.6%	18	94.7%	1	11.1%	
	V その他・分からない・無回答	10	10.6%	0	0.0%	0	0.0%	7	25.9%	0	0.0%	3	33.3%	
	計	95	101.1%	22	100.0%	17	100.0%	28	103.7%	19	100.0%	9	100.0%	
	結論選択の上で重視	19	20.2%	3	13.6%	5	29.4%	9	33.3%	1	5.3%	1	11.1%	
	反対結論の場合無視できず要配慮	12	12.8%	2	9.1%	2	11.8%	5	18.5%	2	10.5%	1	11.1%	

(自由記載欄の記載中、特徴のあるものの要旨)

1 更正可能性、再犯可能性という観点からの意見

- 必要なのは刑罰でなく、更生への教育である (即時廃止意見)。

2 誤判の可能性という観点からの意見

- 世論では、裁判の誤りへの意識が低く、弁護士への調査では、8割を超える人が誤判への危険を感じている。という事は、裁判が身近でない私達が、報道で解決した、真犯人が捕まったと思っている事も、実は未解決であるケースが多いの难道うかと思った。(当面存置意見)。

3 人道に反し野蛮という観点からの意見

- 凶悪犯罪をした人間にもっと人間らしい暮らしを。(漸次廃止意見)。

4 国家による殺人という観点からの意見

- 人が人を殺すことが正しいなんて傲慢である (即時廃止意見)。
- 「人を殺すな」という規範を設けた国が、自ら人を殺すのは矛盾している (即時廃止意見)。

6 世論の動向という観点からの意見

- 何故「死刑じゃなきゃ許されない」のような多数世論が形成されるのか理解できない。家族でもない友人でもない人が、加害者弁護士を鬼畜呼ばわりすることも理解できない (即時廃止意見)。

7 償いという観点からの意見

- 生命を奪っても、その罪は消えない (即時廃止意見)。
- 死刑になれば、当人の贖罪の機会も失われてしまう (即時廃止意見)。
- 殺された本人の大切な人生を絶った重大な罪は死を持って償うべき。更生できるとは思えないし、殺された人は再び生き返ることはない (当面存置意見)。

8 被害者感情という観点からの意見

- 自分の大切な人が殺されたとして、殺した人に死んで貰っても取り返しがつ

かないし、私にとっては全く代わりにならない（即時廃止意見）。

- 死刑によって被害者の家族にとっても、事件は事件として生涯心に刻まれているのではないか（即時廃止意見）。
- 死刑までに、加害者がどう考え、どう死んでいったか、そのことが被害者家族に分からないままの死刑執行なら、被害者家族は納得できないだろう（そのことも今日はじめて知った）（即時廃止意見）。
- 何も悪いことをしていないのに愛する人を殺されても、弁護士は犯人を助けるのか。森さんは自分が突然殺されても平気か。他人事だから死刑廃止といえるのか。自らは、喜んで殺されるのか（当面存置意見）。

9 抑止力という観点からの意見

- 死刑を残しても、廃止しても、死刑・終身刑相当の行為をする者はいるだろう。犯罪を行う者は、何人も心身耗弱で行うと思う（状況により廃止意見）。
- 現在の状況で法務大臣が印を押さないと執行はされないが、状況により死刑になるという環境が抑止力になっていると思う（当面存置意見）。
- 死刑がないと、安心して殺人を犯すと思う（当面存置意見）。

10 代替手段という観点からの意見

- 仮釈放のない終身刑もまた残酷な刑ではないか（即時廃止意見）
- えん罪が起こりうるから死刑はなくすべきだが、無期懲役で仮釈放された後の再犯の危険もあるので、新しい制度によってカバーしつつ、段階的に死刑をなくしていくべきである（漸次廃止意見）。
- 終身刑等に代わったとして、果たして本当に心の底から反省、償いができるのか。どのような再生プログラム等を組むのか（当面存置意見）。

11 裁判員という観点からの意見

- 死刑制度について全く知らず、そういうことを知っていないと、裁判員もできないと思う（即時廃止意見）。

自由記載欄の記載

- 裁判員として死刑求刑事件に臨むとして、無実の人を殺してしまうかもしれない刑を、制度として支持するにはとても抵抗がある（漸次廃止意見）。

12 その他の観点からの意見

- 本当に反省するまでは、そして、本当に反省したら、殺してはならない。全ての犯罪に社会の（私たちの）責任がある。格差、貧困、虐待、差別など（即時廃止意見）
- 生きる力を学校で教育されて9年になるが、死ぬときはどのような場合なのかを想像し、傷つけあうことを防ぐことを取り敢えず考えて努力したい（状況により廃止意見）
- 死刑制度について、もっと公開してほしい（当面存置意見）。